※令和４年度以降入学生用

学校番号	204

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・義務教育課程で学んだ基礎を発展させ、高度な作品制作を実践します。
・思春期を迎え、自分とは何かを考える年齢なので制作工程の中での自己との対話を深め、自分ならではの表現を考え、実践しよう。
・自己表現だけではなく、他人の作品の表現についても考えよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・各単元設定の作品の完成。
【思考力、判断力、表現力等】
・単元設定のテーマに即したアイデアスケッチの作成。また、固定観念だけではなく、多方向からの物の見方ができる柔軟性を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・いかに自己を表現できるかの表現法を学ぶ。また、自分の言いたいことを確実に伝える能力と、他人の伝えたいことを理解する能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象をとらえる造形的な視点に立って作品を考える。 ・造形的な良さや美しさ、単元設定の表現の必要性を理解する。 ・色彩の基本を理解する。 ・彩色技法を理解する。	・意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表現する。 ・作品制作にあたり創意工夫や美術的な機能美について考える能力を育てる。 ・美術文化の歴史を理解し、他者の表現を尊重する能力を身につける。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 ・授業環境を考えた正しい行動を選択する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	絵画	・モダンテクニックの作品制作	a： ・モダンテクニックの歴史や種類を理解している。 ・形や色、材料などの性質や、それらが視覚的、触覚的にもたらす効果の理解・部分的、全体的なバランスの調和とメリハリの表現を理解している。 b: ・単元目標に向けたイメージを深め、創造的な構成を考えることができる。 ・作品全体の調和を考え、創造的な表現方法を考えている。 c: ・自主的に美術の幅広い創造的活動に取り組もうとしている。 ・自分の作品を相手に伝えようとしている。 ・プレゼンテーションで他人の作品を認める豊かな心を持とうとしている。	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・モダンテクニックの技術レベル ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品制作にあたり使用する技法の選択 ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品の完成
	デザイン	・ロゴマークの作成	a： ・マークの歴史や種類を理解している。 ・正確な製図技術と彩色を理解している。 ｂ： ・省略やデフォルメすることができる。 ・自己分析や自己表現から表現している。 ・色の特性を理解し表現することができる。 ｃ：自主的に美術の幅広い創造的活動に取り組もうとしている。 ・プレゼンテーションで自分の作品を相手に伝えようとしている。 ・プレゼンテーションで相手の作品を理解しようとする心を持とうとしている。	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・完成した作品

※令和４年度以降入学生用

2	デザイン	モザイク画	a: ・モザイク画の原理を理解している。 ・肖像権、登録商標といった知的財産権を理解している。 ・正確に格子を引く能力を身につけている。 ・曲線を直線に変換する能力を身につけている。 ・正確なベタ塗を身につけている。 b: ・論理だった色彩理論を理解している。 ・明度、彩度の正しい選択をすることができる。 ・全体的に調和することができている。 c: ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 ・プレゼンテーションで自分の作品を相手に伝えようとしている。 ・プレゼンテーションで他人の作品を認める豊かな心を持とうとしている。 ・皆が使用する授業空間を守ろうとしている。	・毎時間の制作工程の確認 ・明度、彩度、色相の把握 ・作品 ・ワークシート	・毎時間の制作工程の確認 ・隣り合ったマス目の色設定 ・作品 ・ワークシート	・作品の完成 ・毎時間の制作工程の確認 ・完成した作品 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2	立体	風の立体	a： ・立体を理解している。 ・立体技法を認識している。 ・使用する道具を理解している。 ・使用する道具の正しい使用法を理解している。 ・三面図から立体の変換を理解している。 b: ・イメージを立体に表現することができる。 ・造形的な美しさを表現することができる。 ・主題を創造的に発想しようとしている。 ・研磨による効果を考えようとしている。 ・具象と抽象の表現をすることができる。 c: ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 ・プレゼンテーションで自分の作品を相手に伝えようとしている。 ・プレゼンテーションで他人の作品を認める豊かな心を持とうとしている。 ・皆が使用する授業空間を守ろうとしている。	・毎時間の制作工程の確認 ・アイデアスケッチ作品 ・ワークシート ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・作品の完成 ・ワークシート
3	鑑賞	世界の映像作品の鑑賞	a: ・意図に応じて表現方法や創意工夫力を身につけている。 ・映像の歴史と種類を理解している。 b: ・主題の生成を想像する過程での構想力や技法を理解している。 c: ・主体的に美術の幅広い創造活動を理解・共有しようとしている。	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・鑑賞プリント	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・鑑賞プリント

※令和４年度以降入学生用

3	デザイン	・ステンドグラス表現の自分の顔	a： ・主題に応じて表現方法を工夫しようとしている。 ・材料の特性の理解している。 ・正確なカット力を身につけている。 b： ・造形的な美しさ、表現的な意図と創意工夫を理解している。 ・明度と彩度を確認することができる。 ・何色もの色を５色に置換することができる。 ・主題のデフォルメや省略などメリハリを表現することができる。 c： ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 ・プレゼンテーションで自分の作品を相手に伝えようとしている。 ・プレゼンテーションで他人の作品を認める豊かな心を持とうとしている。 ・皆が使用する授業空間を守ろうとしている。	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品	・毎時間の制作工程の確認 ・ワークシート ・作品の完成

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度